
きゅうり ペン おじいさん

悲劇のM

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

さゆうつ ペン おじいさん

【著者名】

N9697F

【あらすじ】

三つのお題を纏つて作ったお話。2ちゃんねるのヒューマ発です。

悲劇のM

眩しいほどに緑色の髪を持つ女の子は、神に人間としての命を『
えられたきゅうり
の化身です。

神様は残酷でした。命を『えただけで満足し、その後はどうでも
よかつたのです。

きゅうりの女の子を、きゅうり畑に放置しました。

生まれたばかりの彼女は、きゅうりを食べて飢えを凌ぐしかあり
ませんでした。し

かし、それにも限界があります。

ある日のことです。そのきゅうり畑を、一人のおじいさんが通り
かかりました。彼

は女の子を発見するなり、腰を抜かしました。無理もありません。
3歳ほどの女の子

がきゅうり畑で横たわっていたのですから。

「おい君、どうしたんだ。どこから来たんだ。名前は？」

あどけない表情で、少女は応えました。

「あたしは……わからない」

「えつ？」

「あたしは、神様に命を貰ったきゅうりなの。それ以外、何もわか
らない」

「ふーむ、そうか」

おじいさんは小首を傾げ、そして決意しました。

「お前さん、行くところが無いのなら、私のところに住まんか？」

「いい、の？」

「ああ、構わんよ。どうせ一人暮らしじゃ。一人寂しく老いを迎え
るより、お前さん

がいた方が数倍楽しいじゃん」

「ありがとうございます。お世話をなつます」

そして二人は一緒に住み始めました。

一人は、それはそれは幸せに暮らしました。きゅうりの女の子はきゅうり姫と名付

けられ、おじこせんにとても可憐がられました。

しかし、一人の幸せを邪魔するものが現れました。きゅうり姫が

ことです。

おじいさんが、重い病気にかかりてしまいました。どれだけ薬を飲んでも治らず、

病床に伏すおじいさんに、きゅうり姫は言います。

「おじこわん、頑張つて下せー」

「きゅうり姫、私はもう無理だ。今日で

「一歩、廻るが止むかねば」

「ああ、うつ姫、お前と廻^{まわ}した時間、とても楽しかったよ」

「短い間じやつたが、私の地味な人生の華が咲いたようじやつた」

幸せにならん
る前の妻に
手を貸す
の時も語る
和乃列は力役
和の心の形相

だよ」

そう言い残して、おじいさんは死んでしまいました。

「アーティスト・アーカイブ」

おじこちゃんの名前は、『ペン』といこま。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9697f/>

きゅうり ペン おじいさん

2010年12月26日14時42分発行